

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2010-195828(P2010-195828A)

【公開日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2010-126865(P2010-126865)

【国際特許分類】

C 07 D 405/06 (2006.01)

A 61 K 31/4025 (2006.01)

【F I】

C 07 D 405/06 C S P

A 61 K 31/4025

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月31日(2011.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

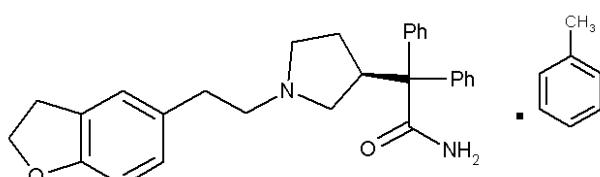
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(VIII)：

【化1】



(VIII)

で示されるダリフェナシンの溶媒和物。

【請求項2】

$\text{m a x. (cm}^{-1}\text{)} : 3463, 3342, 3299, 3285, 3022, 2925, 2825, 1673, 1614, 1490, 1440, 1384, 1333, 119, 1243, 1195, 1152, 1130, 1115, 1102, 1028, 1003, 980, 939, 926, 907$ で有意な吸収バンドを示す、単回反射ATR(減衰全反射)を用いて測定される赤外スペクトルにより特徴づけられる、請求項1に記載の溶媒和物。

【請求項3】

12.572, 12.754, 15.978, 17.419, 18.537, 18.889, 20.78, 21.562, 22.437, 22.736, 23.767, 24.075, 24.266, 25.35, 25.762, 27.214, および 29.716° (2) で主要なピークを示す、銅放射 ($\lambda = 0.15405 \text{ nm}$) を用いて得られた粉末X線回折パターンにより特徴づけられる、請求項1または2に記載の溶媒和物。

【請求項4】

20 / 分のスキャン速度で 92 にて鋭い吸熱を示す、走査熱量測定 (DSC) トレースにより特徴づけられる、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の溶媒和物。

【請求項 5】

(S) - 2 - { 1 - [2 - (2 , 3 - ジヒドロベンゾフラン - 5 - イル) エチル] - 3 - ピロリジニル } - 2 , 2 - ジフェニルアセトアミドをイオン交換樹脂処理に付すること、続いてトルエンと混合することを含んでなる、請求項 1 に記載の式 (VIII) の溶媒和物を提供する方法。